

市 長 会 見 資 料
2025 年(令和 7 年)11 月 26 日
環境産業局環境室環境創造課 (担当：植田)
TEL：078-918-5786（内線：2591）

議案第 87 号関連資料

水とみどりでつながるあかしネイチャーポジティブ宣言について

1 提案理由

ネイチャーポジティブの実現を目指すことを宣言するため、明石市議会の議決すべき事項等に関する条例第 2 条第 2 号の規定に基づき、議会の議決を求めようとするものです。

2 提案に至った背景

世界では、陸地の 75%は著しく改変され、海洋の 66%は複数の人為的な要因の影響下にあり、1700 年以降湿地の 85%以上が消失しました。また、調査されているほぼ全ての動物、植物の約 25%の種の絶滅が危惧されているなど、過去 50 年の間、人類史上かつてない速度で地球全体の自然が変化しており、このままでは生物多様性の損失を止めることができず、持続可能な社会は実現できないとされています。

本市においても、陸域の生き物 277 種が絶滅の危機にあると明石市レッドリストに選定されているなど、生物多様性の喪失が進行しています。海域でも同様に、近年、いかなごやたこ類など漁獲量の減少をどう食い止めるかが大きな課題になっています。

このような生物多様性をマイナスからプラスに反転し、陸域からつながる海域の生態系を改善しなければなりません。そこで、本市として率先して「水とみどりでつながるあかしネイチャーポジティブ宣言」を表明し、これまでの生物多様性の取組を一層進めて行くと共に、さまざまなステークホルダーと連携・共創を深めることでネイチャーポジティブの実現を目指すとするものです。

3 宣言文案についての市民参画手続き

- (1) パブリックコメント（期間：2025 年 10 月 1 日から 10 月 31 日まで）
- (2) 第 27 回明石市環境審議会自然環境部会（開催日：2025 年 11 月 5 日）

4 宣言の内容

別紙宣言文案のとおり

5 今後の予定

令和 7 年度第 2 回定例会（12 月議会）に議案提出
2026 年 1 月 18 日(日) ネイチャーポジティブ宣言式

※宣言議案の議決が前提

水とみどりでつながる
あかしネイチャーポジティブ宣言

(案)

世界では、陸地の 75%は著しく改変され、海洋の 66%は複数の人為的な要因の影響下にあり、1700 年以降湿地の 85%以上が消失しました。また、調査されているほぼ全ての動物、植物の約 25%の種の絶滅が危惧されているなど、過去 50 年の間、人類史上かつてない速度で地球全体の自然が変化しており、このままでは生物多様性の損失を止めることができず、持続可能な社会は実現できないとされています。

こうした事態を受け、国においては、「生物多様性国家戦略 2023－2030」を閣議決定し、生物の種の数が増え回復していくポジティブな状態にしていくため、2030 年までに、陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする、いわゆる「30 by 30 目標」を掲げ取組を進めています。

明石市では、これまでに、気候非常事態宣言に基づき、事業者の脱炭素経営に向けた支援や太陽光発電施設の設置促進など「ゼロ・カーボンあかし」の実現に向けた取組、循環型社会の実現のためごみ減量施策などの「ゼロ・ウェイストあかし」の取組を進めてきました。

持続可能な社会を実現するためには、これまでの取組に加え、生物多様性国家戦略を踏まえた取組を強く推し進め、里山から海までの水とみどりでつながるあかしの豊かな自然を健全な生態系として効果的に保全・再生することが必要です。

明石市は、以下の 5 つの方針のもと、ネイチャーポジティブの実現を目指すことをここに宣言します。

- 1 里山、ため池、農地、公園、河川、海岸など自然環境の保全・回復に取り組むとともに、陸の栄養を海まで届ける「水とみどりでつながるネットワーク」を強化します。
- 2 海洋生物の生息・生育環境の保全に努め、持続可能な海洋や漁場など、豊かな海の実現に取り組みます。
- 3 特定外来生物対策に取り組む、生態系の保護・保全に努めます。
- 4 生物多様性の大切さを普及・啓発し、自然と関わる人たちのつながりを強化し、自然と共生する人づくりを進めます。
- 5 これらの取組を産官学民が共創し、それぞれの立場で健全な生態系を回復、保全し、向上させる社会・経済活動を進展させ、豊かな自然環境を次世代に継承します。

年 月 日
明石市長 丸谷 聡子